平成25年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場会社名	株式会社コメリ		上場取引所　東
コード番号	8218	ＵＲＬ　http://www.komeri.bit.or.jp	
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	捧　雄一郎
問合せ先責任者	(役職名) 常務取締役　常務執行役員 経営企画室ゼネラルマネジャー	(氏名)	板垣　隆義　(TEL)025(371)4111

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日　配当支払開始予定日　平成24年12月３日

四半期決算補足説明資料作成の有無　：有

四半期決算説明会開催の有無　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第２四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	162,244	1.3	12,683	△5.5	12,609	△4.6	7,426	0.1
24年３月期第２四半期	160,132	6.9	13,426	37.1	13,222	38.3	7,420	53.7

（注）包括利益　25年３月期第２四半期　7,311百万円（△2.0%）　24年３月期第２四半期　7,459百万円（ 61.3%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年３月期第２四半期	146.26	146.18
24年３月期第２四半期	146.13	146.12

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第２四半期	257,726	123,221	47.8
24年３月期	257,609	116,787	45.3

（参考）自己資本　25年３月期第２四半期　123,153百万円　24年３月期　116,755百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年３月期	―	17.00	―	18.00	35.00
25年３月期	―	18.00			
25年３月期(予想)			―	18.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、通期は対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	322,500	3.4	20,700	2.3	20,300	3.5	10,700	10.5	210　72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有
業績予想の修正につきましては、本日（平成24年10月30日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：無

新規　ー社　（社名）　、除外　ー社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：有

④ 修正再表示　：無

（注）「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年３月期２Ｑ	54,409,168株	24年３月期	54,409,168株
② 期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	3,629,955株	24年３月期	3,631,286株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年３月期２Ｑ	50,778,754株	24年３月期２Ｑ	50,777,979株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
４．補足情報 …… 9
商品部門別売上状況 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における我が国経済は、長引く債務危機による欧州経済の停滞や中国等の新興国の景気減速を背景として、外需関連企業を中心に厳しい環境となりました。

このような状況のもと、当社グループの当第２四半期連結累計期間の売上高は、天候不順の影響による季節商材の立ち遅れや、前年度に売上を伸ばした生活必需品や防災用品・節電用品等の反動はありましたが、主力カテゴリーの「金物・資材・建材」及び「園芸・農業用品」分野は、堅調に推移いたしました。

新規出店は、パワー（以下、ＰＷ）を１店舗（熊本県宇土市）、ホームセンター（以下、ＨＣ）を２店舗（茨城県笠間市、愛媛県西予市）、ハードアンドグリーン（以下、ＨＧ）を11店舗、合計で14店舗となりました。また、ＨＧを１店舗（富山県黒部市）閉店した結果、当第２四半期末現在の店舗数は、ＰＷ22店舗、ＨＣ134店舗、ＨＧ929店舗、アテーナ17店舗、合計で1,102店舗となりました。なお、東日本大震災による建物破損で営業を休止しておりましたＨＧ１店舗（宮城県丸森町）の移転増床を行い、６月に営業を再開いたしました。

（商品部門別の状況）

・金物・資材・建材

「金物・資材・建材」分野は、前年度に売上を伸ばしたアンテナパーツや火災報知器等の反動はありましたが、木材やセメント等の建築資材の販売は、堅調に推移いたしました。これにより売上高は、460億97百万円（前年同期比102.9％）となりました。

・園芸・農業用品

「園芸・農業用品」分野は、４月の低温、８・９月の酷暑・残暑による植物の値下げ・ロスの影響はありましたが、肥料・農薬を中心に堅調に推移いたしました。これにより売上高は、444億85百万円（同106.1％）となりました。

・家庭用品

「家庭用品」分野は、すだれ等の内装用品は堅調に推移いたしましたが、前年度に売上を伸ばした生活用品や地デジチューナー等の反動が影響いたしました。これにより売上高は、385億24百万円（同96.8％）となりました。

・オフィス・レジャー用品

「オフィス・レジャー用品」分野は、前年度に売上を伸ばした家具・収納用品の反動がありました。また、ペット用品もフードを中心に販売が低迷いたしました。これにより売上高は、222億50百万円（同98.7％）となりました。

・灯油他

「灯油他」分野は、灯油の販売単価は前年並みに推移いたしましたが、販売数量が前年を下回りました。これにより売上高は、29億85百万円（同99.1％）となりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の営業収益は、1,622億44百万円（前年同期比101.3％）、営業利益は、126億83百万円（同94.5％）、経常利益は、126億９百万円（同95.4％）、四半期純利益は、74億26百万円（同100.1％）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①　資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ１億17百万円増加し、2,577億26百万円となりました。主に有形固定資産が22億74百万円増加した一方、現金及び預金が15億69百万円、商品及び製品が17億37百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ63億16百万円減少して、1,345億５百万円となりました。これは、短期借入金が110億円減少した一方、長期借入金（一年内返済予定を含む）が26億10百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ64億33百万円増加して、1,232億21百万円となりました。主に利益剰余金が65億10百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は47.8％（前連結会計年度末は45.3％）となりました。

②　キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ15億85百万円減少し23億88百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、170億７百万円（前年同期比6.0％増）となりました。主に税金等調整前四半期純利益 124億44百万円、減価償却費 56億32百万円、たな卸資産の減少額 17億51百万円等の資金の増加、及び法人税等の支払額 56億25百万円等の資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、79億97百万円（同14.0％減）となりました。主に有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、105億95百万円（同22.0％増）となりました。主に短期借入金の減少によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第２四半期の業績及び当第３四半期以降の経営環境を踏まえ、平成24年４月26日に公表いたしました平成25年３月期の通期連結業績予想を変更いたしました。

詳細につきましては、平成24年10月30日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,237	2,667
受取手形及び売掛金	7,093	6,525
商品及び製品	88,231	86,493
原材料及び貯蔵品	165	151
繰延税金資産	1,595	1,617
その他	7,148	8,040
貸倒引当金	△59	△59
流動資産合計	108,412	105,436
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	85,808	86,221
土地	27,862	27,745
リース資産（純額）	7,429	7,060
その他（純額）	6,345	8,692
有形固定資産合計	127,445	129,720
無形固定資産	6,411	6,487
投資その他の資産		
投資有価証券	407	356
繰延税金資産	5,523	5,628
敷金及び保証金	7,497	8,304
その他	1,945	1,828
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	15,339	16,083
固定資産合計	149,196	152,290
資産合計	257,609	257,726
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,299	43,825
短期借入金	44,840	33,840
1年内返済予定の長期借入金	4,191	4,967
リース債務	2,382	2,278
未払法人税等	5,740	5,192
賞与引当金	2,036	2,209
役員賞与引当金	56	29
店舗閉鎖損失引当金	17	17
ポイント引当金	447	445
災害損失引当金	34	34
その他	11,367	13,252
流動負債合計	114,413	106,092

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
固定負債		
長期借入金	9,049	10,884
リース債務	5,949	5,661
退職給付引当金	5,226	5,587
役員退職慰労引当金	1,025	1,023
資産除去債務	3,134	3,248
その他	2,022	2,007
固定負債合計	26,409	28,413
負債合計	140,822	134,505
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,802	18,802
資本剰余金	25,260	25,260
利益剰余金	81,489	88,000
自己株式	△8,812	△8,809
株主資本合計	116,739	123,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	△7
繰延ヘッジ損益	△9	△92
その他の包括利益累計額合計	15	△99
新株予約権	32	67
純資産合計	116,787	123,221
負債純資産合計	257,609	257,726

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	154,951	157,304
売上原価	103,840	105,425
売上総利益	51,110	51,878
営業収入	5,181	4,939
営業総利益	56,291	56,818
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	39	－
給料及び手当	13,890	14,400
賞与引当金繰入額	2,061	2,209
役員賞与引当金繰入額	28	29
その他	26,845	27,493
販売費及び一般管理費合計	42,865	44,134
営業利益	13,426	12,683
営業外収益		
受取利息	23	21
受取保険金	40	66
為替差益	119	106
その他	63	73
営業外収益合計	247	267
営業外費用		
支払利息	354	308
その他	97	33
営業外費用合計	451	341
経常利益	13,222	12,609
特別利益		
固定資産売却益	1	－
受取補償金	－	122
補助金収入	－	49
工事負担金等受入額	65	－
受取和解金	35	－
特別利益合計	101	172
特別損失		
減損損失	－	177
固定資産処分損	241	160
特別損失合計	241	337
税金等調整前四半期純利益	13,082	12,444
法人税、住民税及び事業税	6,124	5,078
法人税等調整額	△462	△61
法人税等合計	5,661	5,017
少数株主損益調整前四半期純利益	7,420	7,426
四半期純利益	7,420	7,426

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	7,420	7,426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	△32
繰延ヘッジ損益	14	△83
その他の包括利益合計	39	△115
四半期包括利益	7,459	7,311
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,459	7,311
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,082	12,444
減価償却費	5,788	5,632
減損損失	－	177
賞与引当金の増減額（△は減少）	127	173
退職給付引当金の増減額（△は減少）	316	360
災害損失引当金の増減額（△は減少）	△324	－
支払利息	354	308
有形固定資産処分損益（△は益）	240	150
受取補償金	－	△122
売上債権の増減額（△は増加）	676	568
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,912	1,751
前払費用の増減額（△は増加）	△621	△627
仕入債務の増減額（△は減少）	2,567	526
未払金の増減額（△は減少）	△331	580
未払消費税等の増減額（△は減少）	△174	771
その他	72	94
小計	19,861	22,790
利息及び配当金の受取額	28	27
利息の支払額	△344	△307
補償金の受取額	－	122
法人税等の支払額	△3,496	△5,625
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,048	17,007
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,866	△6,780
無形固定資産の取得による支出	△438	△405
敷金及び保証金の純増減額（△は増加）	112	△806
その他	△102	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,295	△7,997
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△3,570	△11,000
長期借入れによる収入	－	5,100
長期借入金の返済による支出	△2,796	△2,489
リース債務の返済による支出	△1,458	△1,292
自己株式の取得による支出	△0	－
配当金の支払額	△863	△914
その他	－	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,688	△10,595
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,934	△1,585
現金及び現金同等物の期首残高	10,141	3,974
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,206	2,388

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

４．補足情報

商品部門別売上状況

（単位：百万円、％）

部門別	前第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）		当第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）		前　年同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
金物・資材・建材	44,814	28.0	46,097	28.4	102.9
園芸・農業用品	41,937	26.2	44,485	27.4	106.1
家庭用品	39,812	24.8	38,524	23.8	96.8
オフィス・レジャー用品	22,541	14.1	22,250	13.7	98.7
灯油他	3,012	1.9	2,985	1.9	99.1
ホームセンター部門計	152,118	95.0	154,343	95.2	101.5
その他	2,833	1.8	2,960	1.8	104.5
売上高合計	154,951	96.8	157,304	97.0	101.5
営業収入	5,181	3.2	4,939	3.0	95.3
営業収益	160,132	100.0	162,244	100.0	101.3

（注）１．商品別の各構成内容は次のとおりであります。

金物・資材・建材	（建築金物、資材・建具、工具、ペイント・内装、作業衣料等）
園芸・農業用品	（園芸・農具、植物等）
家庭用品	（日用品・家庭用品、電気製品、インテリア、服飾雑貨等）
オフィス・レジャー用品	（オフィス用品、家具収納、スポーツ・レジャー、文具・玩具、ペット、カー用品等）
灯油他	（燃料等）

２．当第１四半期連結累計期間からホームセンター部門の商品区分を一部変更したため、前年同期比較にあたっては、前第２四半期連結累計期間分を変更後の区分に組替えて表示しております。